

## インフルエンザ週報 2017年 第5週 (1月30日～2月5日)

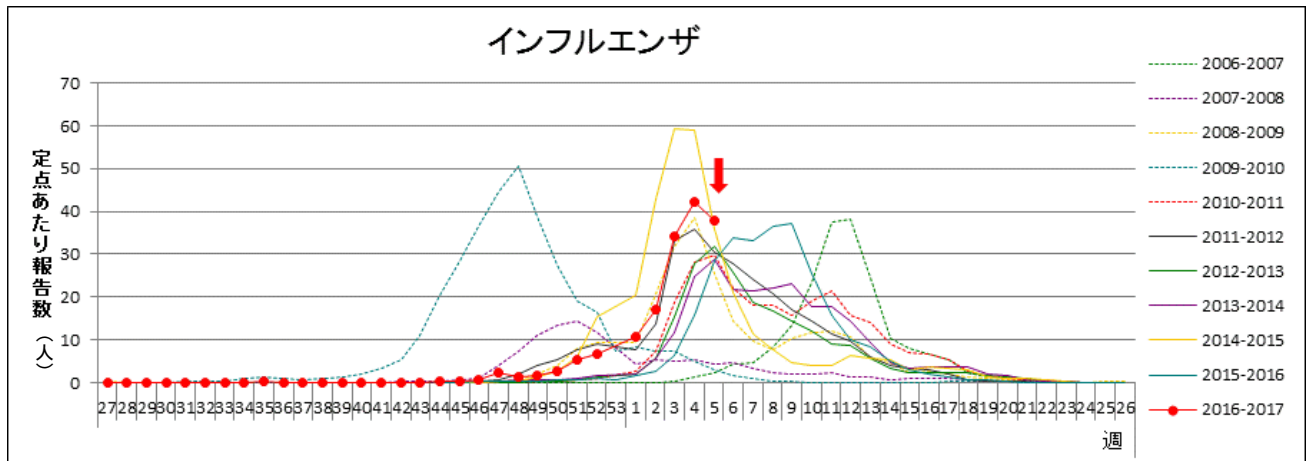
岡山県は『インフルエンザ警報』発令中です

## ➤ 岡山県の流行状況

- インフルエンザは、県全体で3,180名(定点あたり37.86人)の報告がありました(84定点医療機関報告)。
- インフルエンザによるとみられる学校等の臨時休業が171施設でありました。
- インフルエンザによる入院患者9名の報告がありました。

## 【第6週 速報】

- インフルエンザによるとみられる学校等の臨時休業が86施設でありました。(2月6日～2月9日)



インフルエンザは、県全体で3,180名(定点あたり42.29 → 37.86人)の報告があり、第49週(12/5～12/11)以降、患者の増加がつついていましたが、約2か月ぶりに減少しました。患者数は減少したものの、依然として多くの患者が報告されており、大きな流行が継続しています。岡山県は、1月26日に『インフルエンザ警報』を発令し、広く注意を呼びかけています。

地域別では、倉敷市(65.94人)、備北地域(41.17人)、備中地域(36.50人)の順で定点あたり報告数が多くなっています。新たに備北地域と真庭地域(34.00人)が発生レベル3となり、美作地域(26.60人：発生レベル2)を除く全ての地域で発生レベル3となりました。

第5週の学校等の臨時休業は、171施設から報告がありました。前週(200施設)より減少したものの、第6週(2/6～)速報でも、すでに多くの施設から報告されているため、ひきつづき幼稚園・小学校・中学校を中心とした集団の中での感染に注意してください。

『外出後や食事前の手洗いを徹底する』『人混みでは、マスクを着用する』『十分な睡眠をとる』など、感染予防に努めましょう。また、症状のある方は早めに医療機関を受診するとともに、マスクを着用するなど咳エチケットを心がけましょう。

[インフルエンザQ&A\(厚生労働省\)](#)

[平成28年度 今冬のインフルエンザ総合対策について\(厚生労働省\)](#)

## ◆インフルエンザは流行期に入っています。 さらなる感染予防に努めましょう。

## 【 予 防 】

- \* 外出後は手洗いをしましょう。アルコールを含んだ消毒剤で手を消毒するのも効果的です。
- \* 人混みでは、マスクを着用しましょう。
- \* 十分な睡眠をとり、バランスの良い食事を心がけて、抵抗力をつけましょう。
- \* 室内では加湿器を使うなど、適度な湿度(50～60%)を保ちましょう。

## 【 かかったかな? という時には 】

- \* 早めに医療機関を受診しましょう。
- \* 水分を十分にとり、安静にして休養をとりましょう。
- \* 周りの人にうつさないように、『咳エチケット』を心がけましょう。

# 1. 地域別発生状況

前週からの推移（単位：人）

地域名	発生状況		推移	地域名	発生状況		推移
岡山県全体	患者数	3180	↘	備 中	患者数	438	➡
	定点あたり	37.86			定点あたり	36.50	
岡山市	患者数	712	↘	備 北	患者数	247	➡
	定点あたり	32.36			定点あたり	41.17	
倉敷市	患者数	1055	↘	真 庭	患者数	102	➡
	定点あたり	65.94			定点あたり	34.00	
備 前	患者数	360	↘	美 作	患者数	266	➡
	定点あたり	24.00			定点あたり	26.60	

【記号の説明】 前週からの推移  
 ↑：大幅な増加    ↘：増加    ➡：ほぼ増減なし    ↓：大幅な減少    ↙：減少  
 大幅：前週比 100%以上の増減    増加・減少：前週比 10～100%未満の増減

## インフルエンザ感染症マップ

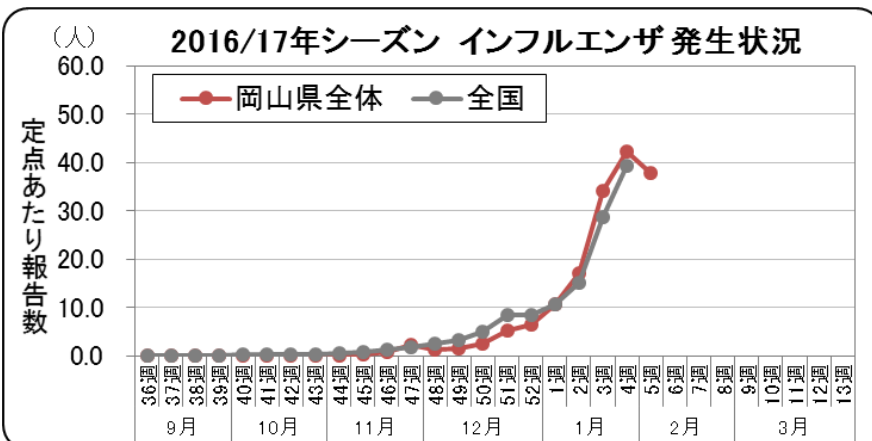
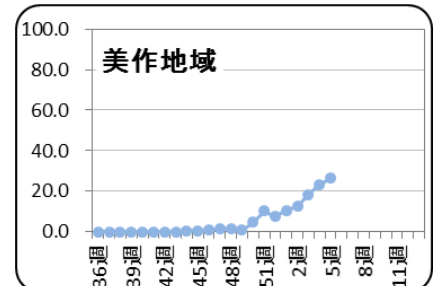
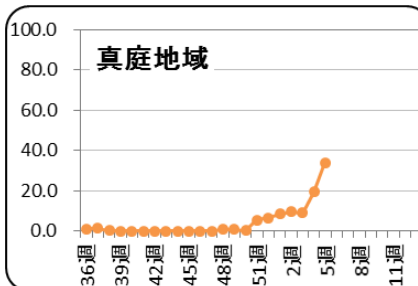
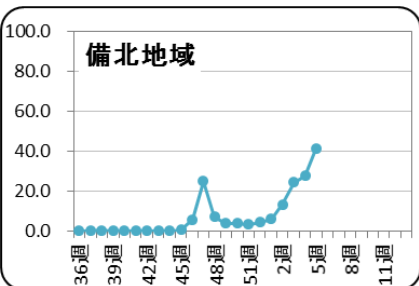
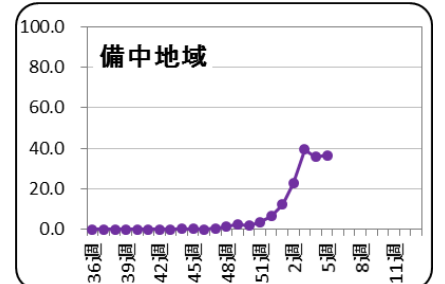
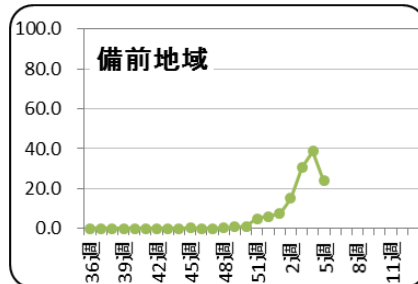
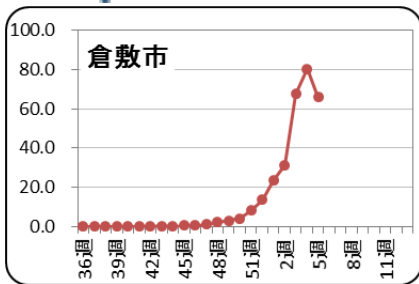
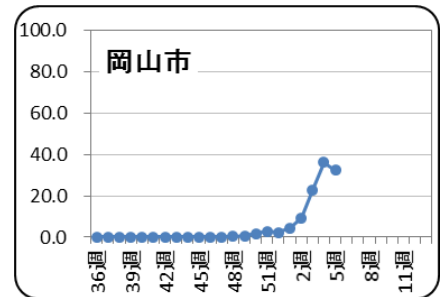


### ＜インフルエンザ発生レベル 基準＞

レベル3		レベル2
開始基準値	終息基準値	基準値
30	10	10 以上 30 未満

レベル1	報告なし
基準値	基準値
0 < 10 未満	0

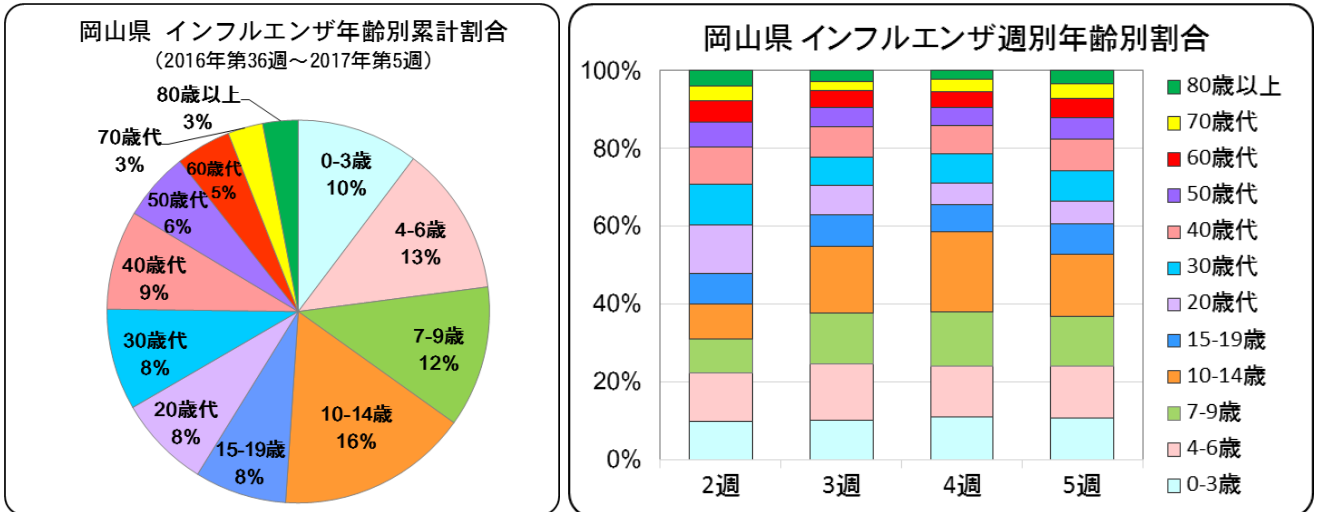


全国集計第4週（1/23～1/29）速報値によると、全国の定点あたり報告数は39.41人となり、前週（28.66人）より増加しました。都道府県別では、宮崎県（59.08人）、福岡県（55.10人）、愛知県（54.68人）の順で定点あたり報告数が多くなっており、全47都道府県で前週の報告数よりも増加しました。

[インフルエンザの発生状況について](#)  
 （厚生労働省）

## 2. 年齢別発生状況

今シーズンの年齢別累計割合は、10-14歳 16%、4-6歳 13%、7-9歳 12%の順で高くなっています。

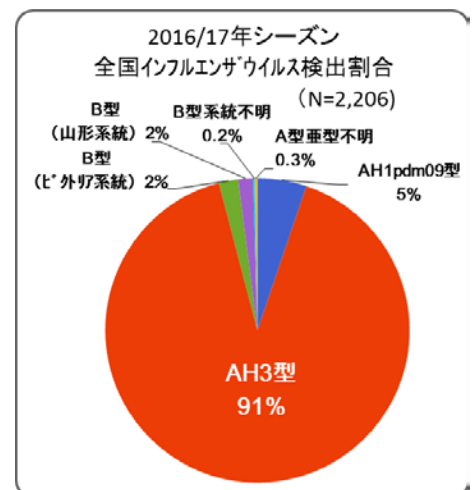
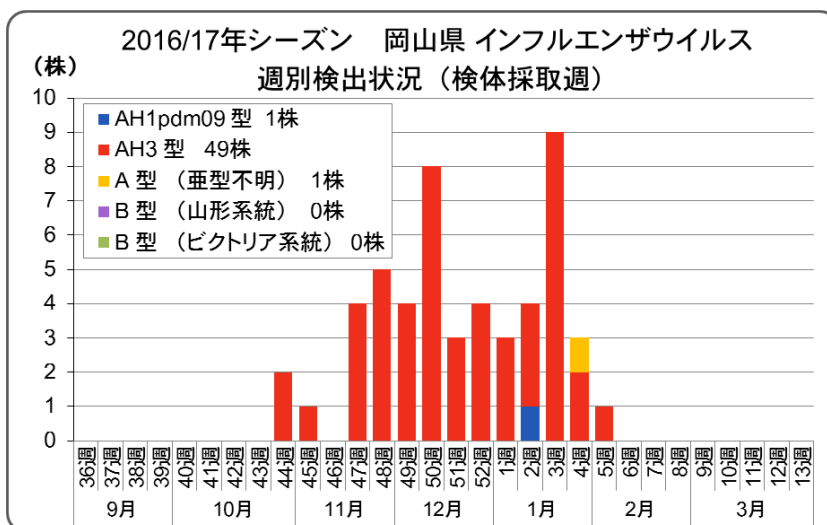


## 3. インフルエンザウイルス検出状況

第5週、環境保健センターで判明したインフルエンザウイルスは、6株（詳細は下表参照）でした。今シーズン、これまでに環境保健センターで検出されたインフルエンザウイルスは、AH3型 49株、AH1pdm09型 1株、A型（亜型不明）1株となっています。

今シーズン、全国で検出されたインフルエンザウイルスは、AH3型 91%、AH1pdm09型 5%、B型 4%〔山形系統 2%・ビクトリア系統 2%〕の順となっています。（2017年2月3日現在）

ウイルス名	検体採取週	検体採取日	地域	年齢	性別	備考
インフルエンザウイルスAH3型	2017年第5週(1/30～2/5)	2017/1/30	真庭	小学生	男	集団発生事例
インフルエンザウイルスAH3型	2017年第4週(1/23～1/29)	2017/1/27	備北	小学生	女	集団発生事例
インフルエンザウイルスAH3型	2017年第4週(1/23～1/29)	2017/1/27	備北	小学生	女	集団発生事例
インフルエンザウイルスA型(亜型不明)	2017年第4週(1/23～1/29)	2017/1/27	備北	小学生	男	集団発生事例
インフルエンザウイルスAH3型	2017年第2週(1/9～1/15)	2017/1/11	備中	幼児	男	
インフルエンザウイルスAH3型	2016年第52週(12/26～1/1)	2016/12/28	備中	小学生	男	

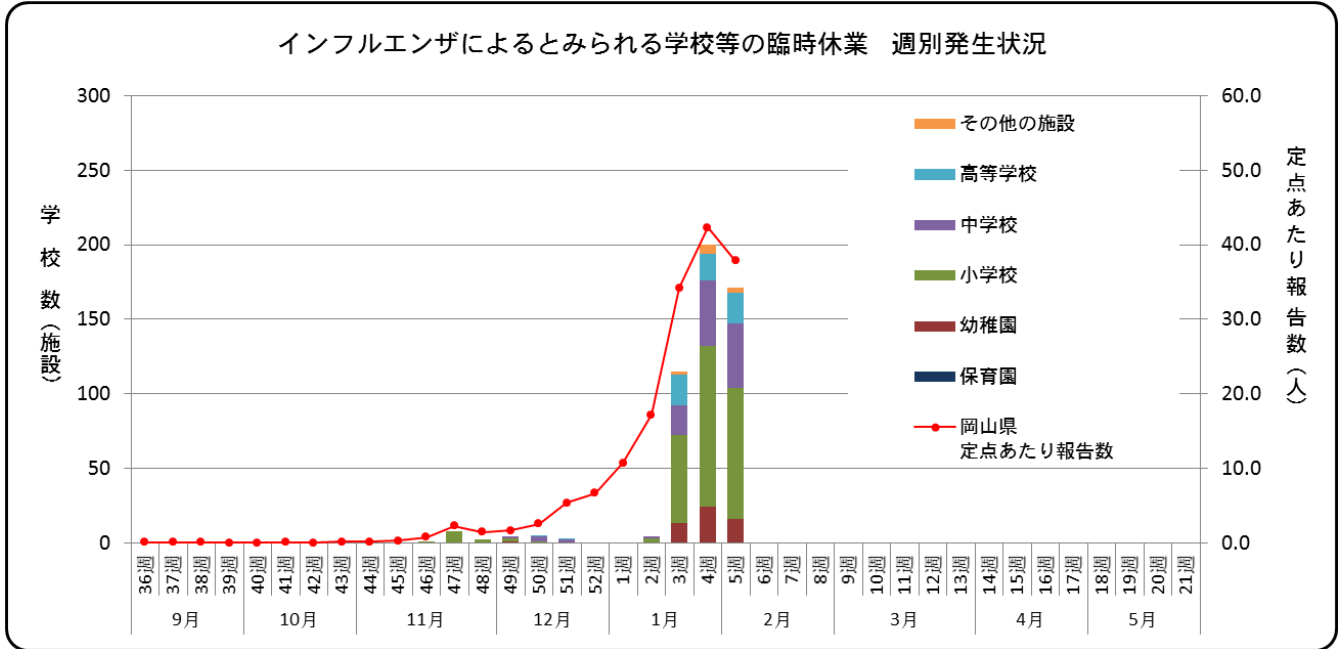


#### 4. インフルエンザ様疾患による学校等の臨時休業施設数

インフルエンザによるとみられる学校等の臨時休業が 171 施設でありました。

【第 5 週 臨時休業施設数】

▽岡山市	64	▽倉敷市	44	▽玉野市	8	▽津山市	7	▽総社市	6
▽井原市	5	▽高梁市	5	▽備前市	5	▽吉備中央町	5	▽浅口市	4
▽笠岡市	3	▽瀬戸内市	3	▽新見市	2	▽赤磐市	2	▽美作市	2
▽和気町	2	▽早島町	2	▽真庭市	1	▽奈義町	1		



##### 1) 有症者数・欠席者数および臨時休業措置の内訳

地域名*	有症者数		うち欠席者数		施設数合計		休園・休校数		学年閉鎖施設数		学級閉鎖施設数		初発年月日
	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	
<b>岡山県全体</b>	<b>2641</b>	<b>8267</b>	<b>2044</b>	<b>6225</b>	<b>171</b>	<b>514</b>	<b>2</b>	<b>6</b>	<b>36</b>	<b>117</b>	<b>133</b>	<b>391</b>	<b>H28.11.2</b>
岡山市	971	3062	749	2283	64	182	0	2	7	19	57	161	H28.12.12
倉敷市	859	2174	652	1688	44	131	—	—	4	14	40	117	H28.11.29
備前地域	350	1265	275	1012	25	86	1	1	9	31	15	54	H28.12.12
備中地域	228	893	185	614	20	49	—	—	9	20	11	29	H28.11.2
備北地域	79	409	64	282	7	33	1	3	3	17	3	13	H28.11.21
真庭地域	12	48	10	39	1	5	—	—	0	2	1	3	H29.1.16
美作地域	142	416	109	307	10	28	—	—	4	14	6	14	H28.11.16

\* 地域名は、保健所管轄地域を表しています。

##### 2) 臨時休業施設数の内訳

第 5 週 : 171 施設

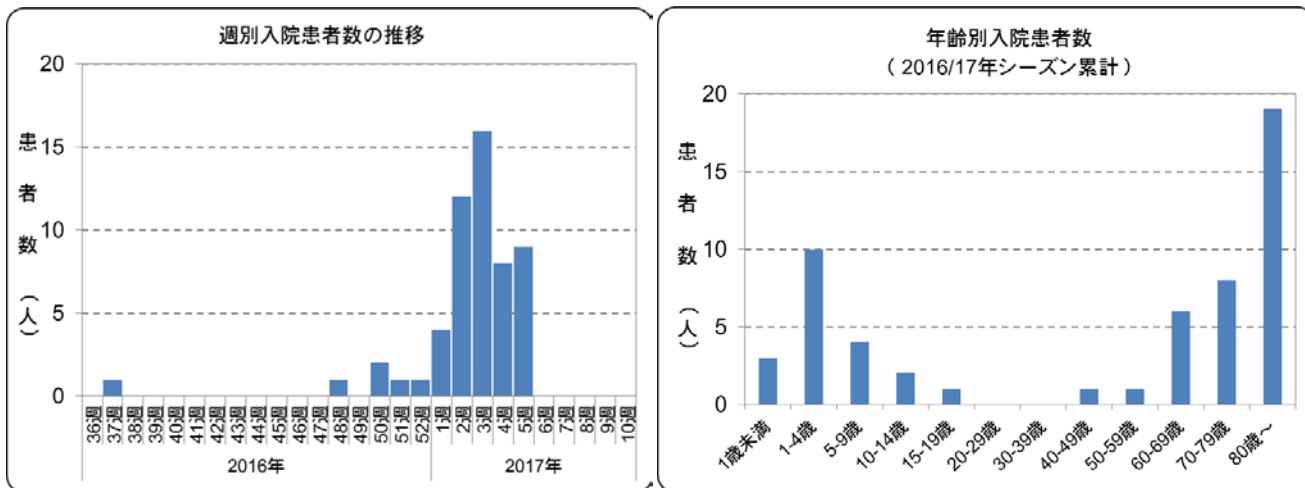
累計 : 514 施設

施設数	保育所		幼稚園		小学校		中学校		高等学校		その他	
	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計
施設数	—	—	16	54	88	272	43	114	21	63	3	11

5. インフルエンザによる入院患者報告数（県内基幹定点 5 医療機関による報告）

インフルエンザによる入院患者は、9 名（1 歳未満 1 名、1-4 歳 1 名、40-49 歳 1 名、50-59 歳 1 名、70-79 歳 3 名、80 歳以上 2 名）の報告がありました。

幼児や高齢者、慢性疾患・代謝疾患をもつ人、免疫機能が低下している人などでは重症化することがありますので、注意が必要です。幼児ではまれに脳炎を起こすことがあります。水分をとった後すぐ吐いてしまう、元気がない、意識がはっきりせずとうとうとしている、けいれんを起こす、このような症状がみられるときは、すぐに医療機関を受診しましょう。



【第 5 週 入院患者報告数】

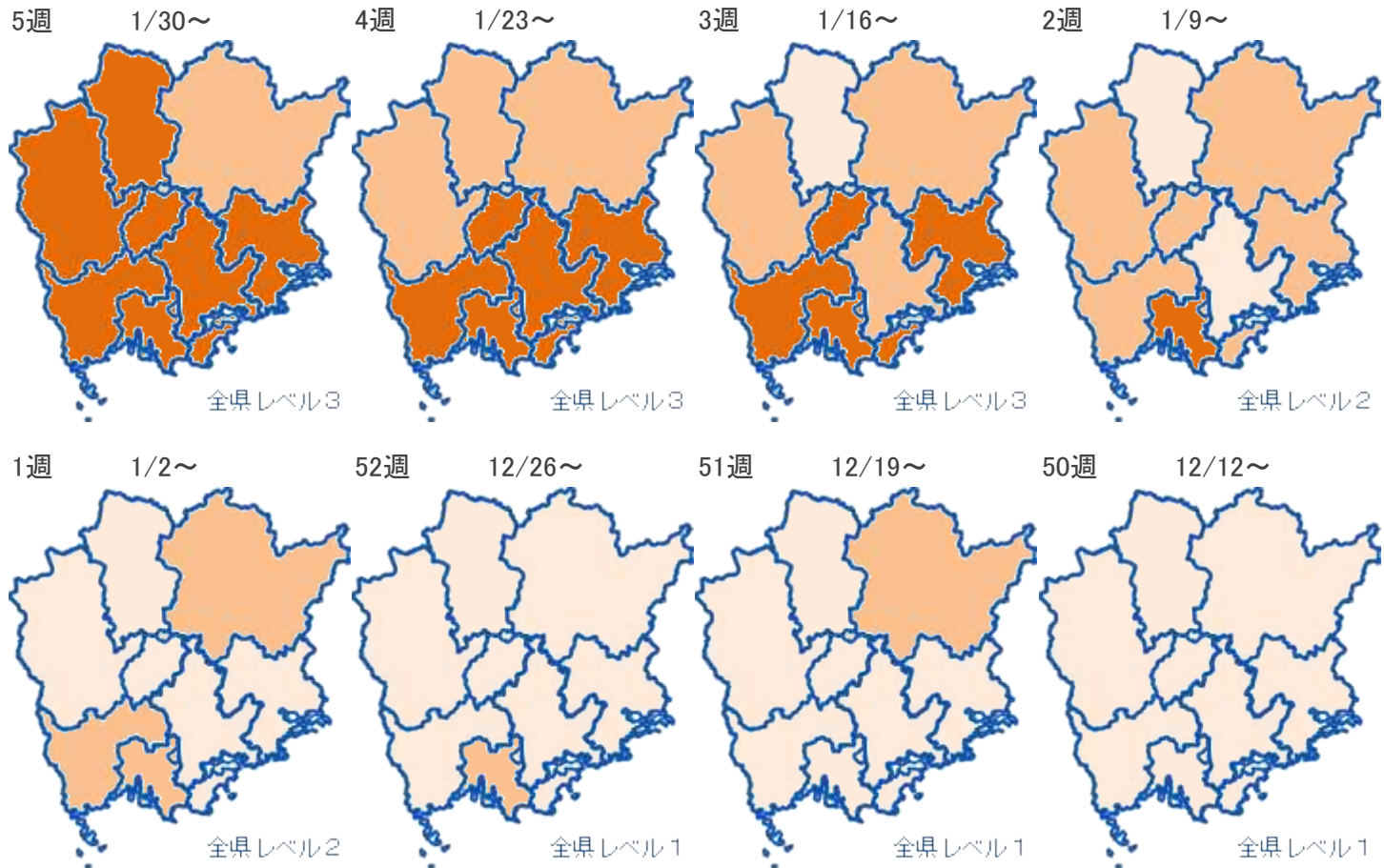
年齢	1 歳未満	1~4 歳	5~9 歳	10~14 歳	15~19 歳	20~29 歳	30~39 歳	40~49 歳	50~59 歳	60~69 歳	70~79 歳	80 歳以上	計*
入院患者数	1	1						1	1		3	2	9
ICU 入室 *											1	1	2
人工呼吸器の利用 *													
頭部 CT 検査(予定含) *											1	2	3
頭部 MRI 検査(予定含) *													
脳波検査 (予定含) *													
いずれにも該当せず	1	1						1	1		2		6

\* 重複あり

【2016 年 9 月 5 日以降に入院した患者の累計数】

年齢	1 歳未満	1~4 歳	5~9 歳	10~14 歳	15~19 歳	20~29 歳	30~39 歳	40~49 歳	50~59 歳	60~69 歳	70~79 歳	80 歳以上	計*
入院患者数	3	10	4	2	1			1	1	6	8	19	55
ICU 入室 *			1								1	1	3
人工呼吸器の利用 *													
頭部 CT 検査(予定含) *			2							1	1	4	8
頭部 MRI 検査(予定含) *		1	2										3
脳波検査 (予定含) *		1	1										2
いずれにも該当せず	3	8	2	2	1			1	1	5	7	15	45

\* 重複あり



## インフルエンザ

レベル3		レベル2	レベル1	報告なし
開始基準値	終息基準値	基準値	基準値	基準値
30	10	10 以上 30 未満	0 < 10 未満	0

レベル3の開始基準値を一度超えると、終息基準値より下がらないとレベル3が継続されます。